

助成事業実施報告書

団体名 東灘こどもカフェ

代表者・役職名 氏名 中村 保佑

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

小さなボランティアの「こどもスタンプカード」活動(フードパントリー)

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

こどもが社会と関わり、小さなボランティアをするという活動が定着できればということで、このスタンプカードを2020年3月からスタートしました。こどもがその日に小さなボランティア(居場所の掃除、家のお手伝いなど)をすると、シール1枚とお菓子がもらえる。シールが10枚たまと「よいこで賞」の表彰状と絵本などの景品がもらえる活動です。居場所を利用・運営するシニアとの交流でお互い元気と喜びをもらっています。この活動を2022年4月から12月まで9カ月間、毎日275日実施しました。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

結果

2022年12月末時点のこども参加者850名。この4月～12月の参加者延人数2,944名。
2020.3.2～2022.12末まで延人数8,731名。多くの参加を頂きました。

成果

1. 元気なこどもの参加でシニアなどとの多世代交流を深めました。
2. こどもが家庭のお手伝いなど、日常的に小さなボランティアをする習慣がついた。
保護者からもこの取り組みが喜ばれ、応援頂いています。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

1. こどもが居場所に来るのは、「毎日午後5時以降も」というケースもあり、現状17時までとしている終了時間を延長する必要がある。
2. スタンプカードを継続するためのお菓子、景品など継続的準備が必要。
3. スタッフも持続的な対応が必要。コロナ禍の中でも今後も毎日継続したいと考えています。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

